



No.4 つどい News

2006年12月1日発行
福岡県保育のつどい
実行委員会
福岡県保育センター
Tel(092)761-5234

第五回実行委員会開催

十一月二十七日(月)、午後七時より福岡県保育センターにて、『子育て保育のつどい』実行委員会準備会が、開催されました。

浅井春夫さんの著書「この国の子どもたちのゆくえ」を学習し、具体的な分科会の設定等を検討しました。担当のグループや責任者など、二月四日に向けて着々と準備は進んでいます。

次回の実行委員会では、分科会の内容や運営などについて話し合いを行う予定です。

浅井先生を囲んで

今回の『つどい』は全部で6つの分科会を予定しています。これまでの、「あそび」「育ちとおもちゃ」「保育運動」などの分科会に加え、久々に「調理」を加えました。また、例年福岡市保育所保護者ネットワークが保護者の交流会を開催していましたが、今回は記念講演だけではなく分科会にも参加してくださる浅井春夫さんが、今年、保護者会のネットワークを発足されたこともあり、他のグループと共同で「浅井先生を囲んで」を担当します。

『つどい』の準備委員会としては、自分たちも積極的にそして楽しみながら成功へ向けて参加しようと頑張っています。

たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

浅井春夫著「この国の子どもたちのゆくえ」から抜粋

子どもが見えるために一子どもをとらえる三つの視点

“子どもが見えにくくなっている”といわれますが、見えにくいという場合、何のために何を見たいのかが問われるべきです。一途中略一

第一は、生活領域的視点です。つまり学校、家庭、学習塾、習いごと、あそび、地域などの諸生活領域での子どもの実相を把握し、相互の関連を見ることです。一略一

第二は、生活構造的視点です。①基礎的生活(衣食住など) ②あそび ③労働(手伝い・仕事) ④自治的活動 ⑤学習の生活諸層の量と質とその関連を正しく子どもの発達の即して位置づけているかという視点です。一略一

第三は、生活史的視点です。現在の子どもの状態にばかり目をやっていたのでは、問題やつまずきが見えないときがあります。

各園からは是非実行委員会に参加を！
二月四日の開催に向けて実行委員一同頑張っています。実行委員会に参加してみられませんか？ 福岡の保育をみんなで考えながら、手つなぎして行きましょう。今年も、記念講演の浅井先生が分科会に参加して下さるといって、ビッグチャンスに恵まれました。保育者も保護者も一緒に頑張って、いろんなことを話してみませんか？
各園から多数のご参加をお待ちしています。

次回の実行委員会は 12月18日(月) 19:00～

福岡県子育て保育のつどい

日時：2007年2月4日(日) 10:00～15:30

場所：婦人会館(福岡市中央区舞鶴2-5-1) / 少年科学文化会館(福岡市中央区舞鶴2-5-27) 他

※コイン駐車場がありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加費：2,000円(センター個人会員 1,500円 学生 1,000円)

保育：1人500円(予約の必要があります。メ切は1/26。詳細は保育センターまでお尋ねください)

弁当：販売しません。近くにコンビニ・うどん屋などあり。

講演：浅井春夫氏(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

連絡先：福岡県保育センター【Tel: 092-761-5234 Fax: 092-781-1995】